

## がん登録実務者ミーティングについて（依頼事項）

### < 目的 >

院内がん登録実務者間のネットワークを構築し、がん登録業務における課題の確認や改善を行うとともに、がん登録に有用な情報の共有、標準登録様式に沿った登録技能の習得、院内がん登録の積極的な啓発活動などにより、がん登録精度の向上を図る。

### 1 会議への参加

院内がん登録を行っている実務者の会議への積極的な参加を配慮願いたい。

	主な取組（予定）内容	（期待される）成果
平成26年度 （年4回開催）	<ul style="list-style-type: none"><li>・院内がん登録実務における疑問や課題解決のための情報提供</li><li>・がん登録精度向上の取組等をテーマとしたグループ討論の実施</li><li>・院内がん登録の解析・情報活用についての好事例の紹介</li><li>・院内がん登録実務者初級者向け研修の開催（講義、演習）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・院内がん登録実務の円滑な実施</li><li>・実務者間のネットワークの構築</li><li>・精度向上に向けた新たな取組の実施</li><li>・院内がん登録実務者の資質の向上</li></ul>
平成27年度 （年4回開催） （予定）	<ul style="list-style-type: none"><li>・院内がん登録実務初級者研修の開催（5/11 神戸大学医学部附属病院）</li><li>・症例検討、統計・情報の分析</li><li>・全国がん登録（H28.1 がん登録推進法施行）開始に向けた準備（登録情報・方法等の共有、活用等）</li><li>・全国がん登録開始後の疑問点・解決策の検討</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・院内がん登録実務者の資質の向上、初級者認定試験のための準備支援</li><li>・全国がん登録への円滑な移行、フォローアップの実施</li></ul>

### 2 データの利活用

院内がん登録を機械的に処理するだけでなく、得られたデータを経年変化でみたり、他施設と比較することなどにより、自施設の特徴や役割等が明らかになる。さらに、データを有効に評価できるようになると、他施設との役割分担や連携のあり方をはじめ、診療の質の向上や、がん医療の均てん化・集約化に向けた経営戦略にも生かせるため、データの利活用を図ってほしい。

### 3 開催への協力

会議開催のための負担の平準化を図るため、国指定がん診療連携拠点病院が持ち回りで当番を務めることとなっているため、当番があたった時には協力をお願いしたい。

#### < 当番病院の主な役割 >

- ・ がん登録部会長、副部会長及び都道府県がん拠点病院と相談のうえ、会議内容を決定
- ・ 開催案内の送付（がん登録部会のメーリングリストによる一斉通知）
- ・ 会場の準備、会議の議事進行及び議事録の作成

#### < 27年度当番病院 >

開催予定時期	病 院 名	26年度当番病院
5月11日	神戸大学医学部附属病院	県立がんセンター（5/14）
9月	公立豊岡病院	関西労災病院（9/26）
12月	姫路医療センター	神戸市立医療センター中央市民病院（12/19）
2月	赤穂市民病院	近畿中央病院（2/26）

### 4 講師依頼

会議では講義形式による研修等を実施することがある。この際、原則として、当番病院となっている病院から講師をお願いしたい。

#### < 例：第1回兵庫県がん登録実務初級者研修会（H27.5.11）の講師 >

病院名	区 分	診 療 科	職 名 等	氏 名
神戸大学医学部附属病院	胃がん	腫瘍・血液内科	医 員	後藤 秀彰 氏
	大腸がん	腫瘍・血液内科	医 員	今村 善宣 氏
	乳がん	腫瘍・血液内科	医 員	西村 明子 氏
	肺がん	呼吸器内科	大学院生	徳永 俊太郎 氏
	肝臓がん	肝胆膵外科	特定助教	木下 秘我 氏